

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

第 2542回 例会
平成26年6月20日(金)
天候 晴れ
合唱 それでこそロータリー
四つのテスト

会長 渡辺 久恭

幹事 石田 浩二

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原

TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

先日6月15日(日)に小田原城北ロータリークラブ主催の事業が小田原城址公園東堀であり、その事業に第9グループがEND PORIO NOW キャンペーン活動で参加させて頂きました。私は参加、出来ませんでした。湯河原ロータリークラブから、石田幹事と神谷会長エレクトに参加して頂きました。ご苦労様でした。これで、2780地区のEND PORIO NOW キャンペーン活動は、全グループが行った事に成りました。

相澤ガバナーも喜んでいらっしゃると思います。

昨日、井島ガバナー補佐年度の最後の会長幹事会が、河鹿荘で17:30から行われました。

会議は特に議題が無く、一年間の会員の増減の確認があり現時点では9グループ全体でマイナス1でした。その後、交換学生の話になり、交換学生の受入れ高校が西湘高校の予定でしたので、神谷会長エレクトと城北ロータリークラブの露木会長で西湘高校を訪問し受入れのお願いに伺っていると聞きました。何かと、手続きが大変だと、思います。

神谷会長エレクト、本当にご苦労様です。

また、会長幹事会の懇親会の最後に、小田原北クラブの中谷会長がせっかく1年半一緒に楽しくやって来たメンバーが、一緒に集まる事が無くなるのは寂しいので同窓会を作ろうと言う事で会長を箱根ロータリークラブの山田会長にお願いして井島会を発足しました。

幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

1. 持続可能な成果をもたらす奉仕プロジェクトを立案・実施する方法を紹介する「奉仕プロジェクトの流れ(ライフサイクル)」と題する5回シリーズのウェビナーを開催しています。
2. 6月24日(火)午前9時~10時には、第5回目となる「活動成果の評価と広報」を開催予定です。ご興味のある方はぜひご登録下さい。

ガバナーより

1. 青少年交換学生の自己紹介文が届きました。

連絡事項

1. 次週も、例会場がレストラン奥の「千歳」となります。皆様お間違えのないようお願いします。

スマイルBOX

結婚記念日 浅田真隆君(6/22)

石田浩二君 6月17日小田原法人会において地区功勞表彰を受けました。

西山敦君 6月15日五所神社奉賛会総会が無事終了しました。本年もよろしく御協力お願い致します。

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 24名
	欠席 4(免除者 0名)		出席率 83.33%
	前回の修正出席率 91.67%		前々回の修正出席率 78.26%

事前メイクアップ 1名

20 世紀日本の地震災害DVDの視聴

1 大地震の時の心得

- *まず落ち着いて身の安全を確保する
- *あわてず冷静に火災を防ぐ
- *狭い路地 壁際 崖や川へりに近寄らない
- *山地では山崩れ 傾斜地では崖崩れに注意
- *避難は徒歩 荷物は最小限に
- *テレビ ラジオで正しい情報入手

2 津波に対する心得

- *海岸で強い地震を感じたら直ちに高台に避難
- *弱い地震でも長くゆっくり揺れたときは急いで避難
- *地震を感じなくても津波警報を発表されたら直ちに避難
- *津波注意報でも海水浴や磯釣りは中止して避難
- *津波は繰り返し襲うので警報や注意報解除まで警戒

交換学生について

今年度当クラブが交換学生を受け入れることになりました。該当者はロシアの生徒で、ロシアはいつもホストファミリーに合流するのに1か月位遅いので今回も時期は8月頃からになると思われます。

交換学生の自己紹介

ロシア アレクセイ様

私の名前は、アレクセイです。ロシアの北部の町、ヤクーツクで生まれ、17歳になります。

私は、美しい5人家族で育ちました。父のValerianは、ビジネスマンで、村から町へ引っ越してきました。母Liraは、銀行員で15年以上勤めています。兄のInnokentiiは、私の良き友人です。弟のNikitaは、5歳になり、とても面白くて、私は彼をからかうのが好きです。お互いのことを愛している家族がいて、とても幸せです。私たちはなんでも気兼ねなく話すことができる、とても良い関係です。

私は今、高校3年生なので、大学に入る前に高校で過ごす最後の年となります。毎朝、学校へ行きます。今は、数学、社会学、ロシア語、英語の4つの課外授業に出ているので、学校生活はとても忙しいです。

時間がある時は、インターネットをしたり、パソコンのゲームで遊んだり、友達とチャットをしたり、テレビをしています。学校が長期休みの時は、村にいる祖母の家へ行きます。

将来、私はビジネスマンになりたいです。そのためには、高い経済の知識やカナダやアメリカなどへ留学する必要があると考えています。また、英語もよく勉強しなければなりませんと思います。だから、交換学生になりたいと思いました。

交換学生の保護者からの文章：

遠くヤクーツクのBurtsev一家より、こんにちは。

私たち家族は、もうすぐ22歳になります。私たちには3人の子供がいます、みんな男の子です。長男のKeshiaは、モスクワにある4年生のGubkin州立大学で勉強しています。真ん中のアレックス（アレクセイのこと）は、ヤクーツクで11年生（高校2年生）の物理とテクノロジーを終えて、一番下のNikitaはまだ5歳で、ただ今幼稚園に通っています。

私たち家族はとても和やかで、子供たちの事が大好きです。子供たちは正直で礼儀正しい人になり、自分の人生に生きがいを見つけたいと強く願っています。私たち親は、いつも子供たちの明るい将来のために働いています。

アレックスは、小さい時から探究心のある自立した子です。彼は、どんな状況にも対応できます。彼は、物事をよく分析し、論理的に考えます。彼は、いいビジネスマンになると思います。父親は、例えば、一緒に家や物置を建てることを通して、明白な指示で子供たちに働くことを教えています。彼はいつも子供たちに高い質を求めています。母親は、家のことを献身的に支えています。アレックスは、良い息子であり、兄弟であります。彼は、周りをよく見て、何が必要で何が支えになるのかによく気が付きます。下の子のことが大好きで、弟と遊ぶ事に夢中になっています。

アレックスには、たくさんの友達があります。彼は社交的で、すぐに友達を作ることができます。ほとんどが学校の友達です。時々、親は、子供達が「生の」コミュニケーションよりソーシャルネットワーキングを使用したコミュニケーションに悩まされますが、おそらくこれは、今日の若い人たちの問題だと思います。

けんかやストレスのある状況になったときは、私たちは正しいか、正しくないかに関わらず、子供たちにきちんと話を聞きます。私たちは、いつも力になりたいと思い、どうすべきかを一緒に考えます。アレクセイの長所は、状況をよく見て早く決断することができます。このことから、私たちはアレクセイがどの状況でも適応できると考えます。

私たち親は、自由を制限しないように、子供たちの興味を邪魔しないように、いつも心掛けてきました。ですが、ある程度のコントロールは必要だとも考えています。アレクセイは、必要であれば、すべての家事をすることができます。

私たちは、自分たちの息子が、我が子であることに誇りを持っています。おそらく、どの親も自分の子供が一番だと考えることでしょう。

私たちは、ずっと前から青少年交換の準備をしてきました。私たちは、台湾からの学生を受け入れ、今年もホストファミリーになる予定です。」（書類提出時）。2012年は、アレクセイが学校の行事で3週間ニューヨークへ、現地の家族とキャンプをしました。このようなプログラムを通じて、彼は消極的になるか、役に立てる存在になれるかどうかをよく学んできました。私たちは、アメリカかカナダへ、先に述べたように良いビジネスマンになるべく、アレクセイを留学させたいと願っています。

私たちは、これらの国でビジネスが根付いている様子を実感できると考えています。また、英語を勉強し、自立した生きた方や広い視野を身に付けることも目的であります。青少年交換プログラムは、自分が生きていく道を見つけると信じています。

私たちは、ホストファミリーがアレクセイとよくコミュニケーションをとることを願います。時々アレクセイは、言葉が少なく、自分の殻に閉じこもることがあります。私たちは、息子が頑張りすぎず、問題を起こさないことを願います。